

| | | | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 講義名 | 社会調査の基礎 | | |
| 科目区分 | 学部専門基礎 | | |
| 担当教員 | 栗田 真樹 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 3時限 | | |
| | 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科 | | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 43046 |

主題と概要

社会科学は理論的な研究だけでなく、「現実」の社会を取り扱っているわけであるから、「実証的」な研究によって実証され、その知見は「実践的」に役立てられなければならない。情報化社会と呼ばれる現代社会においては、情報を収集するためにさまざまな調査が行われているが、科学的に行われる調査は非常に少ない。この授業においては、実証的な研究方法である社会調査について、その意義と諸類型に関する基本的事項についてとりあげ、科学的な社会調査の基礎を修得することを目的とする。

到達目標

- ・基礎的な社会調査の考え方と諸方法を理解する。
- ・データ解析の基礎を修得する。
- ・現実の社会現象を観察し、自分なりの仮説を立てることができるようになる。
- ・データから知見を読み取ることができるようになる。

提出課題

講義内で課題を課すことがある（不定期）。
中間期にはレポート試験を課す。詳細については講義内で指示する。

評価の基準

| | |
|----------------------------------|-----|
| 平常点（講義内課題）、レポート、筆記試験により総合的に評価する。 | |
| 1. 授業中 講義内課題（不定期） | 30% |
| 2. 中間期 レポート試験 | 20% |
| 3. 試験期 定期試験 | 50% |

履修にあたっての注意・助言他

「社会調査士」科目であるので「社会調査」に興味関心があり、積極的に学習しようという意欲のある学生の履修を希望する。
なお、講義中の私語、携帯電話、メール等は厳禁とする。このような場合は「講義妨害」であるので、他の履修者の権利を守るため退室してもらうこともあるので注意すること。

教科書

| | | | |
|-----------------|--------|--------------|--------------|
| 『新・社会調査へのアプローチ』 | 大谷信介ほか | ミネルヴァ書房 2700 | 978462306654 |
| | | 2013年 | |

プリント資料及び参考文献

随時紹介、指示する。そのほか担当者作成のプリントを配布する。

授業計画

- 1 社会調査の目的と社会調査士制度
- 2 社会調査の歴史
- 3 調査の倫理
- 4 さまざまな調査方法、統計的調査と事例研究法
- 5 質問紙調査法1（調査の設計、調査の手順）：仮説構成、質問紙の構成）
- 6 質問紙調査法2（調査の手順）：質問項目の設計、質問文と回答の作成）
- 7 フィールドワーク
- 8 実験的方法、内容分析
- 9 国勢調査と官庁統計
- 10 学術調査、世論調査、マーケティング・リサーチ
- 11 社会調査データアーカイブ
- 12 量的データと質的データ
- 13 社会調査データ解析の基礎（単純集計）
- 14 社会調査データ解析の基礎2
（二変数間関係分析）
- 15 データ解析に基づく実践

予習・復習

予習：テキストの指定ページを読んで授業に出席してください。
復習：課題に答えて、授業中に提出してください。

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で30時間（2時間×15回）、予習・復習で60時間（4時間×15回）です。毎回の予習・復習、中間レポート試験、定期試験の準備等、授

備考

クリッカー（Respon等）を使用する可能性があります。ただし授業中の不必要な携帯・スマホの利用、私語など、授業態度の悪い人には退室を求めます。十分注意してください。